

2017年

9月1日[金] - 10月15日[日]

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)  
休館日：9月4日(月), 11日(月), 19日(火), 25日(月)  
10月2日(月), 10日(火)  
観覧料：一般 400円(300円)  
小中学生 200円(100円)



平常展示「鎌倉の仏像」開催中

※ ( ) 内は20名以上団体料金。

※本料金を鎌倉国宝館平常展示「鎌倉の仏像」もご覧頂けます。

※鎌倉市の小・中学生と市内在中の65歳以上の方、または身体障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は観覧料が無料となりますので、受付に学生証・手帳等を提示してください。

特別展

国宝

鶴岡八幡宮

古神宝

National Treasures of Tsurugaoka Hachimangu Shrine

国宝 籠菊螺鈿蒔絵祝箱(螺鈿部分) 鶴岡八幡宮



鎌倉国宝館  
KAMAKURA KOKUHOUKAN MUSEUM

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-1 [鶴岡八幡宮境内]  
TEL: 0467-22-0753  
<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kokuhoukan/>

特別展

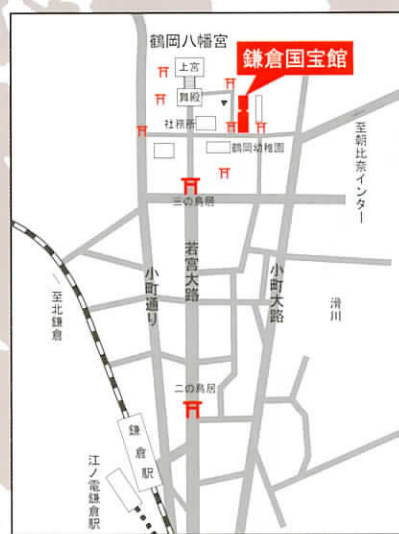
# 国宝 鶴岡八幡宮 古神宝



鎌倉の象徴、鶴岡八幡宮は、康平6年(1063)に源頼朝5代の先祖である源頼義が鎌倉由比ヶ浜に八幡神を勧請したことを起源とします。治承4年(1180)に頼朝が同宮を現在の地に遷座してからは、源氏の氏神としてだけでなく、武門の守護神として、または関東の鎮守として現在まで篤い信仰を集めています。

文治3年(1187)より始められた放生会は、現在は例大祭として毎年9月15日に挙行され、同宮のもっとも重要な祭礼として位置付けられています。年に一度の本展覧会は、800年の伝統を今に伝えるこの例大祭の時期に合わせて、同宮が守り伝えてきた神宝を一堂に展示します。

本年の展示では、『吾妻鏡』の記述をたどりながら、源氏に尊崇された同宮創建以来の遺宝の数々をご紹介します。この機会に、鶴岡八幡宮が誇る歴史と美をどうぞごゆっくりご鑑賞ください。



〔交通案内〕  
・JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩12分。  
・京急バス「大学前」、江ノ電バス「鎌倉八幡宮前」から徒歩3分。  
※駐車場がありませんので、お車でご来館の際は、鶴岡八幡宮近隣の民間の駐車場をご利用ください。



①重要文化財 蓮唐草時絵箱形礼盤 青蓮寺 ②国宝 沃懸地杳薬螺鈿平胡鉢 鶴岡八幡宮 ③重要文化財 菩薩面 鶴岡八幡宮 ④鎌倉市指定文化財 僧形八幡神像 浄光明寺  
⑤伝源頼義坐像 鶴岡八幡宮  
⑥五大明王像 鶴岡八幡宮 ⑦国宝 籬菊螺鈿時絵祝箱 鶴岡八幡宮 ⑧重要文化財 銅造薬師如来坐像 寿福寺 ⑨十一面観音菩薩坐像 寿福寺 ⑩重要文化財 舞楽面・陵王 鶴岡八幡宮